

南陽図書館つうしん 2018冬号

〒455-0857 名古屋市港区秋葉一丁目 130-79

TEL052-301-2116 Fax052-301-2117

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館し、直後の平日を休館）

第3金曜日（祝日の場合は開館）年末年始（12/29-1/4）

特別整理期間【H30年度 6/11（月）～15（金）】

ホームページ：<https://www.library.city.nagoya.jp>



「南陽地域ふれあいまつり」に参加しました！

平成30年10月28日（日）、とだがわこどもランドで開催された「南陽地域ふれあいまつり」に、昨年に引き続き南陽図書館も参加しました。

図書館のブースでは市民からの寄贈本を無料で配布するリサイクル本屋さん、絵本の表紙を使って作るエコバッグの工作教室、絵本の読み聞かせやクイズを行いました。また、先着100人の子どもたちには、どんぐりに顔を描いた人形をプレゼント。当日はさわやかで気持ちのいい秋晴れだったこともあり大盛況で、お昼頃にはどんぐりもリサイクル本もほとんどなくなってしまう、117人の方に312冊お譲りしました。

エコバッグは絵本の表紙のカバーの下のところを折り曲げて、両面テープを貼って底を作り、穴にひもを通して結べば完成です。小さい子には、穴にひもを通したり、結ぶのが少し難しそうでしたが、とても楽しく作ることができました。また『おばけまほうにかかる』『いないいないばあ』『だるまさんが』の3冊から、それぞれに希望の絵本を1冊読んだり、テントの中のハロウィンにちなんだ飾りを探したり、南陽図書館にある本の数や子どもの本の題名をあてるクイズなど盛りだくさんな内容を行いとても楽しい時間を過ごすことができました！

エコバッグ作りの様子



新しく入った本の紹介



『写真好きのための法律&マナー』吉川明子／著 朝日新聞出版 0212

昨今、デジカメやスマホなどで写真を手軽に撮れるようになり、SNSにアップする人も多くなっている。しかしそれに伴い、写真に関する法律違反やマナー違反などのトラブルも多くなっている。「撮影していけない場所とは？」「どこからが肖像権違反？」「自分の写真を無断転載されたら？」など、写真をめぐる法律やマナーについて詳しく解説。



『ミステリなふたり あなたにお茶と音楽を』

太田忠司／著 東京創元社 F



愛知県警で広く敬われかつ恐れられている「氷の女王」と京堂景子警部補。クールビューティーなその姿に、あこがれる人は多い。そんな彼女も、家の中、夫の前ではデレデレ。そして夫・新太郎は、家にいながら、景子の話のみで謎を解き明かしてしまう名探偵だった。

『森籠もりの日々』森博嗣／著 講談社 9156

「ほとんどの問題は、相手の身になって考えることで、多少は穏やかな解決に至るものです」「頑張りの価値は自身のものです。人に評価されるためのものではありません」「本当の『学ぶ』『知る』とは、検索では見つからない情報を得ることです」2017年7月から半年間ブログに綴られた、森博嗣の考えた事柄をまとめた本。

★ 行事報告 ★

この印刷物は再生紙を使用しています。

絵本作家さんと絵本をつくろう！(10/27 開催)

10月の「なごやっ子読書月間」の記念行事として、中川区在住の絵本作家石川基子さんの指導で、ステンシル(型染め)を用いて絵本を作るワークショップを行いました。てきとうに切った形を型紙にして、出来た形からストーリーを考えます。色マジックで絵や文を書き込み、テープやモールで製本して、おとなもこどもも、満足のできあがりとなりました。



この講座に先立ち、カウンター前で、講師の著作『ほしじいたけほしほあだけ』シリーズの原画展示を2週間行い、たくさんの方にご覧いただくことができました。

子どもと本の講座 「子どもの生活・あそびに色を塗る～絵本LIVEを楽しむ」 (11/2 開催)

日本福祉大学の富田克巳さんによる講義。絵本を実際に読んでもらい、会場は和やかムード。保育園の子どもの反応、年齢月齢による違いなども興味深く、「知らない絵本がたくさんあった」「子どもと読みたい」と、紹介された絵本がたくさん借りられました。



★ 行事案内 ★ 県立南陽高校との連携事業がたくさんあります！

10月下旬から、**南陽高校**の生徒による**刺繍やキルトの作品を展示**していましたが、お気づきになりましたか？ひき続き、12月中旬まで**書道部作品展示**、そのあとは**NanyoCompany 部のパネル展示**を行います。

イベントも、**ハンドマッサージ体験**(12/15)、本のプレゼンに投票する**ビブリアバトル**(12/27)、裂き織りでコースターも作れる講座**フェルトレードってなに？**(1/26)など、目白押し。

それぞれ申し込みが必要です。詳しくは、館内のちらしをご覧くださいか、職員におたずねください。

～12月は10冊貸出・冬だ。そうだ本を読もう！～

南陽地区は「名古屋の穀倉地帯」



お米の収穫期を迎え、新米が出回る時期となりました。みなさまは、新米を召し上がっていますか？

お米は、日本全国の各都道府県で、様々な品種が生産され販売されています。お米を購入するためにスーパーマーケットに行った時、いったいどのお米を買えばよいのかで迷ったことも多いと思います。

「生産量」で比較すると一番多い品種は「コシヒカリ」、2番目「ひとめぼれ」、3番目「ヒノヒカリ」の順になっています。(米穀機構『平成29年度水稻うるち米の品種別作付動向』より)「生産地」で比較すると多い順に、新潟県、北海道、秋田県となり、愛知県は20位です。(農林水産省『平成29年度水陸稲の収穫量』より)

南陽図書館がある南陽地区は名古屋の穀倉地帯として300ヘクタールを超える水田で約1,480トンのお米を生産しています。南陽地区で栽培される「あいちのかおり」は名古屋市内の学校給食にも活用されていますので、給食で食べた方も多くいらっしゃると思います。農薬を減らして栽培したお米「陽娘(ひなたむすめ)」は南陽地区のブランド米として販売されています。

また、図書館から歩いて15分(港区西茶屋三丁目)のところには、田んぼを大きなキャンパスに見立てて、葉の色の異なる稲で絵を描く「田んぼアート」が毎年作られます。見頃は7月上旬で、南陽図書館にお来しの際はあわせてご覧ください。

参考文献

『ミナトグルメプロジェクト厳選レシピ集 2015-2018』

名古屋市港区役所地域力推進室発行 2018年11月

『南陽地区お出かけMAP』 名古屋市交通局発行 2018年6月

米穀機構米ネット <https://www.komenet.jp>

農林水産省 H.P. <https://www.maff.go.jp>

